



① M C を細心に操作
 ②待機中の大型のNC旋盤
 ③3次元測定機での品質チェック
 ④作業後には必ず品質チェック
 ⑤M C を操作するベテラン社員

にほん こうぎょう
日本プラアール工業 株式会社



強み

**ベテラン社員が支える品質
 二重のチェック体制**

同社の作る機械部品の素材はプラスチック全般にわたる。その品質を支えるのがベテラン社員による職人技だ。ただでさえ誤差が髪の毛の太さの10分の1以下、0.03mmから0.01mm以下の精度まで求められるのに、温度や湿度に対して寸法精度が変わることまでベテラン社員の勘で読んでいくのだ。そして、それを3次元測定機で検証していく。

品質管理体制は徹底している。現場で加工した後、図面と照らし合わせて確認、その後出荷時にも別の担当者が図面と確認する二重のチェック体制をとっている。もちろん、外観検査も怠らない。

こうした取り組みが、平成28年に最大手の取引先が求める99.9%を上回る100%の良品率を実現できたことにつながっている。「品質要求は年々厳しくなっている」と吉野亮治営業部長が語るとおり、その取り組みの強化は今なお続いている。

取り組み

**顧客からの要望に応え続ける
 提案力も磨く**

会社創業時からバックボーンとなっているのが、顧客からの要望に応え続けること。NC（数値制御）旋盤やマシニングセンター（M C）での作業一つとっても、加工する順番に工夫を持たせたり、加工方法の改善によって加工時間の短縮につなげている。

また、接着、組立、曲げ加工などベテラン社員の手による加工にも対応できるのも強みだ。これにより他社では敬遠されがちな難しい加工にも挑戦している。

一方で、「何でもいいから安く仕上げたい」といった要望に対しては、その部品の使用方法を聞いたり図面を見たりしながら、求められる機能を考え使用材料、加工方法などの提案も行っている。

形状が複雑なものへの対応は昔からの課題。ただ、昨今は3次元プリンターの導入などの動きも一方であらわれ始めているが、それら新技術も越えるベテラン社員による創意工夫や提案力の面目躍如といったところだ。

今後の展開

**進化する
 プラスチックとともに
 生産体制の拡充へ**

同社は8月期決算。「特に平成28年9月から始まった今期は急激に忙しくなっており今後も引き合いが活発化している」と吉野営業部長が語る。その目の先にあるのは、機械の増設と人員の増員によって、いっそう多くの顧客のニーズに対応できる体制の構築だ。

現在の主な機械設備はNC旋盤が3台、M Cが3台、3次元測定機が1台。この増強に当たっては、さらなる新規顧客の獲得へ向けた積極的な営業展開と、製品の品質向上に向けた検査体制の充実も欠かせない。

今後は商社時代から関係の深い金属加工メーカーなどの協力会社と組んで、多様化するニーズに応えていくことも多くなりそうだ。ますます進化するプラスチックとともに、軽量化やコスト対策などの目的により金属から置き換える動きも積極的に捉え、事業の拡大を目指そうとしている。

**ベテラン社員が支える品質と
 徹底した顧客対応**

事業内容と沿革

前身は商社、プラスチック部品製造へ転身

昭和59年9月に工業用ゴム、プラスチック部品商社として大阪府門真市に創業・設立した「日本プラアール工業」は、その後事務所を拡充するために今の地に移動した。さらに、平成2年5月には、顧客からの要望に直接対応するため設備投資を行い、プラスチック加工メーカーとして再出発する決断を行った。以来、徐々に工場を拡充しながら今日に至っている。

現在、売り上げの70%から80%を占めるのが液晶や半導体、電池、医療機器などの製造ラインに使われる機械

部品だ。素材が汎用プラスチックからエンブラまで多岐に渡るほか、生産単位も100個から500個規模をメインとしながらも試作品や1,000個単位のものまで対応するなど、小回りの良さを生かして、顧客の要望に徹底的に寄り添うことを心がけてきた。

これを現場で支えるのが40歳前後の中堅社員たち。一つひとつの注文をただ作業としてこなすのではなく、自らの技術の向上にもつながるように意識している。

代表取締役社長
 よしの えいじろう
吉野 栄治郎 さん

**単価・納期・品質対応に加え
 顧客との信頼関係を大切にします**

もともと商社だった頃から顧客からの要望に真摯に対応することを旨としてきました。プラスチック全般の加工メーカーとして、ときにはアドバイスも提供しながら、一方で金属加工メーカーなども協力して幅広い製品を作り出しています。その核となっているのが、ベテラン社員が持つ技術力です。ちょっとした温度や湿度の変化でも変わるといわれる素材の精度を最後は手触りで確認することで、平成28年、最大手の取引先からのクレームをゼロにできました。顧客からの要望に徹底的に応えていく姿勢とその確実な実績が評価につながっています。

■**主な事業内容**
 各種製造ライン用機械部品を主とする
 プラスチック加工メーカー

■**主な取引先(納入先)**
 機械部品メーカー

住 所 / 〒570-0043
 大阪府守口市南寺方東通1-10-14
 TEL / 06-6992-6396
 FAX / 06-6992-6134
 創 業 / 昭和59年9月
 設 立 / 昭和59年9月
 資本金 / 1,000万円
 従業員 / 6名

<http://www.nprkk.co.jp/>